| 科目名 | インテリアデザイン実習１ | | | | | | 年度 | 2026 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英語科目名 | Interior Design Course 1 | | | | | | 学期 | 前期 |
| 学科・学年 | デザイン科<br>インテリアデザイン専攻　２年次 | 必／選 | 選 | 時間数 | 60 | 単位数 | 2 | 種別※ | 実習 |
| 担当教員 | 碓氷和也 | 教員の実務経験 | 有 | 実務経験の職種 | インテリアデザイナー | | | |

【科目の目的】

住宅や店舗などデザインの知識と技術を学び、作品を制作する。

【科目の概要】

店舗デザインに必要な知識を習得し、課題制作を通して魅力ある空間を提案する科目である。この授業では個人ワークやグループワークを取り入れる。商業施設をデザインする課題を通じて思考のプロセスを学び、空間に対しての認識能力やスケール感を高める。コンセプトからイメージを形にするデザイン能力を磨き、模型・パースを使用したプレゼンを習得する。

【到達目標】

テーマを把握し、調査・設定・コンセプト・空間構成を行い、プレゼンボードを作成し発表することで、イメージを形にする基本的な知識や技術を習得する。基礎的なテーマからインテリアの知識を習得し、インテリアデザインの技術を磨き、デザインについて探求する能力を高め、商業施設のインテリアデザインを実務レベルで出来ることを目標にする。

【授業の注意点】

遅刻、欠席をすると内容についていけない為、理由のない遅刻や欠席は認めない。やむを得ず体調不良等で欠席した場合は、翌日に自発的に資料を教員室まで取りに来ること。授業中メモを取り、わからないことは、質問すること。課題は締切厳守。全ての課題を提出で合格とする。授業時数の４分の３以上出席しない者は最終課題の評価を受けることができない。

評価基準＝ルーブリック

| ルーブリック<br>評価 | レベル５<br>優れている | レベル４<br>よい | レベル３<br>ふつう | レベル2<br>あと少し | レベル１<br>要努力 |
|---|---|---|---|---|---|
| 到達目標<br>A | 表現特性に合わせた技術を理解し、十分に活用して丁寧に制作している | 表現特性に合わせた技術を理解し、丁寧に制作している | 表現特性に合わせた技術を理解し、制作している | 表現特性に合わせた技術を理解しているが、形として不十分 | 表現特性に合わせた技術ついての理解が不足している |
| 到達目標<br>B | 課題条件に合わせ、論理的思考に沿った効果的な表現ができる | 課題条件に合わせ、論理的思考に沿った表現ができる | 課題条件に合わせた思考と表現ができる | 課題条件に合わせた思考はしているが表現が不十分 | 課題条件の理解が不足し、思考と表現が不十分 |
| 到達目標<br>C | 多くのアイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証ができる | アイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証ができる | アイデアをもとに、デザイン内容の検証ができる | アイデアをもとに制作はできるが、デザイン内容の検証が不十分 | アイデア、デザイン内容の検証が共に不十分 |
| 到達目標<br>D | 制作時間を考えて内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる | 制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができる | 提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができる | 提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない時がある | 提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない |
| 到達目標<br>E | 主体的に授業参加し、自分の作品を言語化して丁寧に説明できる | 休まず授業参加し、自分の作品を言語化して説明することができる | 自分の作品を言語化して説明することができる | 自分の作品を言語化して説明することができない時がある | 自分の作品を言語化して説明することができない |

【教科書】

課題毎に資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

課題技術40% 課題の表現技術を総合的に評価する。
課題内容40% 課題のコンセプト・アイデア・デザインを総合的に評価する。
課題完成度10%　課題の完成度について総合的に評価する。
平常点10%　積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

| 科目名 | インテリアデザイン実習１ | 年度 | 2026 |
|---|---|---|---|
| 英語表記 | Interior Design Course 1 | 学期 | 前期 |

| 回数 | 授業テーマ | 各授業の目的 | | 授業内容 | 到達目標＝修得するスキル | 評価方法 | 自己評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ガイダンス | 授業について理解する | 1 | 自己紹介 | 自己紹介ができる | 2 | |
| | | | 2 | 授業の流れの確認 | 学習目標を立てることができる | | |
| 2 | 課題１ | テーマ設定、エスキース① | 1 | 情報収集 | テーマに関する情報を収集できる | 2 | |
| | | | 2 | デザインスケッチ | アイデアスケッチができる | | |
| 3 | 課題１ | テーマ設定、エスキース② | 1 | 情報収集 | テーマに関する情報を収集できる | 2 | |
| | | | 2 | デザインワーク | アイデアスケッチができる | | |
| 4 | 課題１ | エスキース、図面作成① | 1 | 作図 | アイデアをもとに図面を作成することができる | 2 | |
| 5 | 課題１ | エスキース、図面作成② | 1 | 作図 | アイデアをもとに図面を作成することができる | 2 | |
| 6 | 課題１ | エスキース、プレゼンボード作成 | 1 | ビジュアル作成 | アイデアをもとにCGやパースを作成することができる | 2 | |
| | | | 2 | プレゼンボード作成 | 作成したビジュアルを使いプレゼンボードを作成することができる | | |
| 7 | 課題１ | プレゼンテーション | 1 | プレゼンテーション | 自分の作品を説明できる | 2 | |
| | | | 2 | 提出 | 期限内に提出する | | |
| 8 | 課題２ | テーマ設定、エスキース① | 1 | 情報収集 | テーマに関する情報を収集できる | 2 | |
| | | | 2 | デザインスケッチ | アイデアスケッチができる | | |
| 9 | 課題２ | テーマ設定、エスキース② | 1 | 情報収集 | テーマに関する情報を収集できる | 2 | |
| | | | 2 | デザインワーク | アイデアスケッチができる | | |
| 10 | 課題２ | エスキース、図面作成① | 1 | 作図 | アイデアをもとに図面を作成することができる | 2 | |
| 11 | 課題２ | エスキース、図面作成② | 1 | 作図 | アイデアをもとに図面を作成することができる | 2 | |
| 12 | 課題２ | エスキース、模型作成③ | 1 | 模型製作 | アイデアをもとに模型を作成することができる | 2 | |
| 13 | 課題２ | プレゼン資料作成① | 1 | ビジュアル作成 | アイデアをもとにCGやパースを作成することができる | 2 | |
| | | | 2 | プレゼンボード作成 | 作成したビジュアルを使いプレゼンボードを作成することができる | | |
| 14 | 課題２ | プレゼン資料作成② | 1 | ビジュアル作成 | アイデアをもとにCGやパースを作成することができる | 2 | |
| | | | 2 | プレゼンボード作成 | 作成したビジュアルを使いプレゼンボードを作成することができる | | |
| 15 | 課題２ | プレゼンテーション | 1 | プレゼンテーション | 自分の作品を説明できる | 2 | |
| | | | 2 | 提出 | 期限内に提出する | | |

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等